

油断無く繕い、人馬通行難儀これ無き様仕るべき事

附り、有り来たる道並び田畠へ切り込み申す間敷事  
一御伝馬宿出火これ有らば、高札（こうさつ）焼失致さざる様、早速  
はづし取り申すべき事

一川船の儀、古来定めの通り違乱（いらん）すべからざる事

附り、御城米積み候船は申すに及ばず、不慮の破船  
これ有らば、早速近在のもの共罷り出、相働き申すべく候、  
縦商人の荷物たり共、相働き申すべく候、勿論

荷物紛失これ無き様仕るべき事

一田畠其の外質入れ、直小作（じきこさく）いたし候はば、質取り主方へ別紙  
小作證文取り置き申すべき事

一質地年季明け請け戻さず候はば、流地致すべき旨の證文入れ  
置き候上は、年季明け期月後請け戻し願い出候とも

取り上げこれ無き事

一質地年季中にも、金子出来請け戻し候はば、地所相返し候  
筈の證文面これ有る分ハ格別、右文言これ無き分は、年季

中請け戻しの儀願い出候共、取り上げこれ無き事

一近年諸寺院猥りに其の寺の本尊・什物（じゅうもつ）・仏具並び建  
具等書き入れ、又は売り渡しの證文を以て、金銀借用いたし候  
寺院数多（あまた）これ有り不埒（ふらち）候、向後右の品質入れ、或いは売り  
渡し證文を以て、金銀借用致し候当人は勿論、證人迄も  
吟味の上、急度申し付けるべく候、尤も金主の儀も不埒に付、  
右躰の儀これ有らば、早々訴え出るべき事

附り、神社宝物類・寺院什物を小前（こまえ）困窮の

之（衍字）もの借り受け、又は若もの共申し合い借り受け、遊興に  
遣い捨て候趣も相聞き、不届の事に候、自今以後  
相止めるべし、若し相背き候はば急度申し付けるべき事

一古着商売のもの共、辻買い決して致す間敷、宅にて買い請け候  
とも出所相糺し、慥か成るものに候はば買い請け、若し怪敷見請け候はば  
留め置き訴え出るべき事

一通り古鉄買いのもの共、盜賊の品を道端又は宅にても  
買い請け候由に付、宿村々にて油断無く穿鑿を遂げ、若し不審